

■ 事後評価（地方創生港整備推進交付金）

未来の元気な小豆島にむけてのみなとづくり計画

香川県 農政水産部水産課
小豆島町 建設課

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）

事後評価書

計画の名称	1 未来の元気な小豆島にむけてのみなとづくり計画		
計画の期間	令和2年度～令和2年度（5年間）	交付対象	小豆島町
計画の目標			

・3港を一体的に整備することにより、来島する観光客の維持、観光客への水産特産品の安定供給や神戸・高松方面への水産物の安定的な出荷を図り、島の観光業や水産業の振興を図る。

1. 事業効果の発現状況 : 一定の効果があった

・コロナ禍の影響により観光客数は減少したものの、事業実施前と同水準まで回復できた。また漁業従事者数も維持できたため、観光業、水産業の振興に貢献できたと考えられる。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 年間観光客数の維持 竹生漁港の漁業従事者数の維持 		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			達成率	備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値								
小豆島の観光客数の維持率を算出する。 (小豆島の観光客数の維持率) = (R6末における年間観光客数) / (R元当初における年間観光客数)	目標値: 107 万人	(R4中) 107 万人	(R6末) 107 万人	92%							
	達成値: 107 万人	83 万人	98 万人								
竹生漁港における漁業従事者数の維持率を算出する。 (竹生漁港における漁業従事者数の維持率) = (R6末における漁業従事者数) / (R元当初における漁業従事者数)	目標値: 12 人	12 人	12 人	100%							
	達成値: 12 人	12 人	12 人								
全体事業費 合計 (A+B+C)	633百万円	A	633百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%	進捗率 (事業費ベース)	94%
実施事業費 合計 (A+B+C)	597百万円	A	597百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%		

交付対象事業																	
A 1 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									R2	R3	R4	R5	R6				
	港湾	離島	小豆島町	直接	-	港湾施設整備事業(坂手浮棧橋整備)	浮棧橋整備 N=1式	坂手港						93	83	89%	
	港湾	離島	小豆島町	直接	-	港湾施設整備事業(草壁浮棧橋整備)	浮棧橋整備 N=1式	内海港						94	76	81%	
	港湾	離島	小豆島町	直接	-	港湾施設整備事業(芦浦岸壁整備)	岸壁防食工 L=54.3m	内海港						72	64	89%	
小計(港湾事業)													259	223	86%		
A 2 漁港事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									R2	R3	R4	R5	R6				
	漁港	離島	小豆島町	間接	-	漁港施設整備事業(防波堤整備)	防波堤整備 L=70m	竹生漁港						374	374	100%	
小計(漁港事業)													374	374	100%		
合計													633	597	94%		

B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									R2	R3	R4	R5	R6				

C 効果促進事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									R2	R3	R4	R5	R6				

その他関連する事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									R2	R3	R4	R5	R6				

要素事業の事業進捗 概ね計画通り進捗 ・概ね計画通りに進捗した												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. 今後の方針 完了 ・本地域再生計画においては、円滑に整備が進み、漁業従事者数及び観光客数を維持する目標をほぼ達成できている。引き続き、「瀬戸内国際芸術祭」や「クルーズ船誘致事業」等を継続し、目標を達成させる。												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	香川県	事業実施主体	小豆島町	地域再生計画名	「未来の元気な小豆島にむけてのみなとづくり計画」
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	香川県土木部港湾課長、香川県農政水産部水産課長、小豆島町建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
目標1	観光客数の維持	107万人	R元	107万人	R4	83万人	107万人	R6	98万人	△	指標総数	達成数	コロナ禍の影響により観光客数は減少したものの、係留施設整備により事業実施前と同水準まで回復できたが、現状では目標を若干下回った。
目標2	竹生漁港の漁業従事者数の維持	12人	R元	12人	R4	12人	12人	R6	12人	○	2	1	防波堤整備、水産振興事業などの施策の効果により、目標値を達成できた。
②事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況		重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
指標1	坂手港のクルーズ船寄港回数の維持	5回/年	R元	5回/年	R4	5回/年	5回/年	R6	1回/年		-	/	
指標2	竹生漁港の安全係船隻数の増加	16隻	R元	27隻	R4	16隻	27隻	R6	27隻	-			
③事業の進捗状況		事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
		計画	中間年度（R4）	最終実績									
地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業	港湾施設整備事業（坂手浮桟橋整備）	浮桟橋整備 N=1式	浮桟橋整備 N=1式	浮桟橋整備 N=1式	今回の整備により、安全かつ便利な浮桟橋になったことにより、利用者の満足度が向上し、クルーズ船等の寄港回数の維持に寄与できたと考えられる。								
	港湾施設整備事業（草壁浮桟橋整備）	浮桟橋整備 N=1式	浮桟橋整備 N=0式	浮桟橋整備 N=1式	今回の整備により、利用者の満足度が向上し、スーパーヨット等の来訪が増加したと考えられる。								
	港湾施設整備事業（芦浦岸壁整備）	岸壁防食工 L=54.3m	岸壁防食工 L=0m	岸壁防食工 L=54.3m	施設を長寿命化できたことにより、安全な係留を継続でき、背後の食品工場を防護できた。								
	漁港施設整備事業（防波堤整備）	防波堤整備 L=70m	防波堤整備 L=70m	防波堤整備 L=70m	防波堤整備により静穏度向上が向上し、漁業従事者数の維持、漁業振興に寄与できたと考えられる。								
その他の事業	瀬戸内国際芸術祭	「海の復権」をテーマに小豆島の魅力を世界に向けて発信するイベント			2010年から3年に1度開催しているが、2025年も開催中であり、多数の作品を展示している。								
	オリーブマラソン全国大会	地域一体で運営し、5,000人のランナーに魅力を発信するイベント			コロナ禍により令和2～4年は中止となり、令和5年から再開したものの、令和7年度は中止となった。次年度以降は再開できるよう準備したい。								
	クルーズ船誘致事業	クルーズ船の誘致、歓迎行事によって、小豆島をイメージアップする観光振興事業			クルーズ船の誘致、歓迎行事を継続的に進めており、持続的なクルーズ船の寄港に寄与していると考えられる。								
	漁業振興協議会による普及事業	水産業を活性化させる事業			新たにカキ養殖業が始まる等、効果があったと考えられる。								
	オリーブトップワンプロジェクト	小豆島オリーブのブランド力の向上する事業			オリーブ出前授業や収穫体験、少量オリーブ果実採油事業等、島内外へ向けたオリーブの情報や魅力発信、オリーブ苗木のプレゼント等を継続して実施している。								
	持続可能な観光推進事業	「持続可能な観光」の推進、体制づくり、啓発活動を実施			持続可能な観光地として、国際認証「グリーン・デスティネーションズアワード」にて「シルバアワード」を受賞する等、取り組みが評価された。								
	地域内循環バス実証運行事業	地域内循環バスによる実証運行を行い、新たな交通体系の構築を目指す			利用者数が少なく、新たな交通体系の構築は実現できていないが、引き続き交通弱者の対策を検討していきたい。								
計画外で独自に実施した事業	該当なし												
④評価方法	香川県公共事業評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
⑤事後評価の公表方法	インターネット（小豆島町のホームページ）等の利用により公表												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生港整備推進交付金を活用した港湾と漁港の一体的な整備の中で、老朽化した施設の整備による施設の延命化、防波堤の新設による船舶の安全な係留場所の確保が可能となることから、来島する観光客の維持、観光客への水産特産品の安定供給や神戸・高松方面への水産物の安定的な出荷が期待され、島の観光業や水産業の振興を図るものである。最終年度では、漁業従事者数は維持できた。コロナ禍の影響により減少した観光客数は、事業実施前と同水準まで回復できたが、現状では目標を若干下回った。しかし、増加傾向にあり、1～2年後に目標値を達成できる見込みである。												
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進み、漁業従事者数及び観光客数を維持する目標をほぼ達成できている。引き続き、「瀬戸内国際芸術祭」や「クルーズ船誘致事業」等を継続し、目標を達成させる。												

事後評価書参考資料

■ 事後評価（地方創生港整備推進交付金）

未来の元気な小豆島にむけてのみなとづくり計画

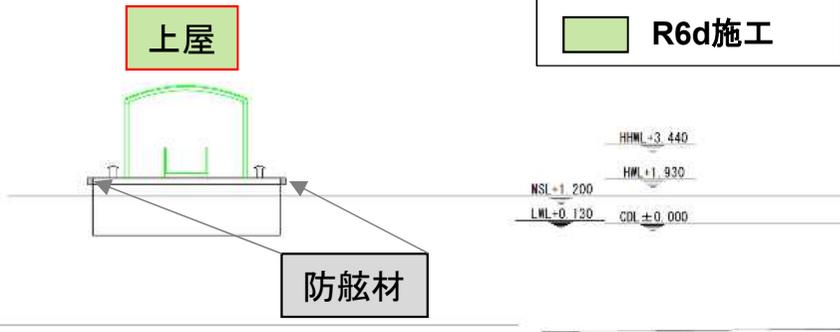
香川県 農政水産部水産課
小豆島町 建設課

2. 事業概要（港灣施設・内海港）

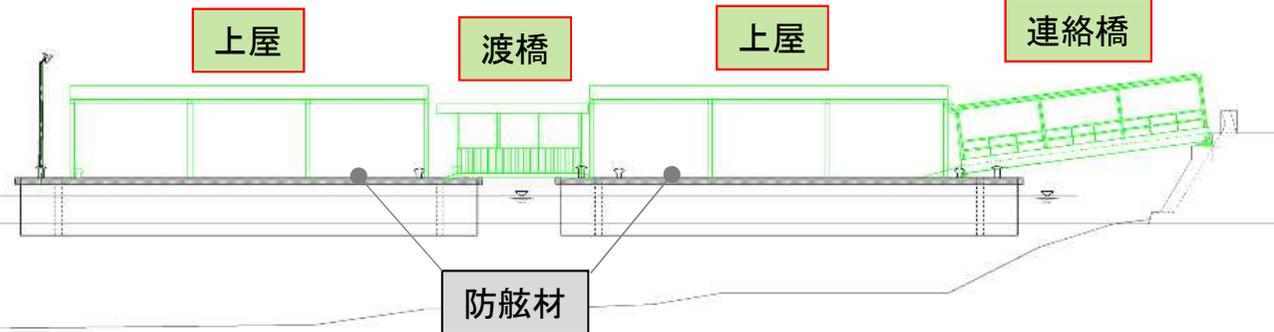


2. 事業概要（港湾施設・内海港・草壁浮棧橋）

断面図



側面図



防舷材

上屋

渡橋

連絡橋

着工前

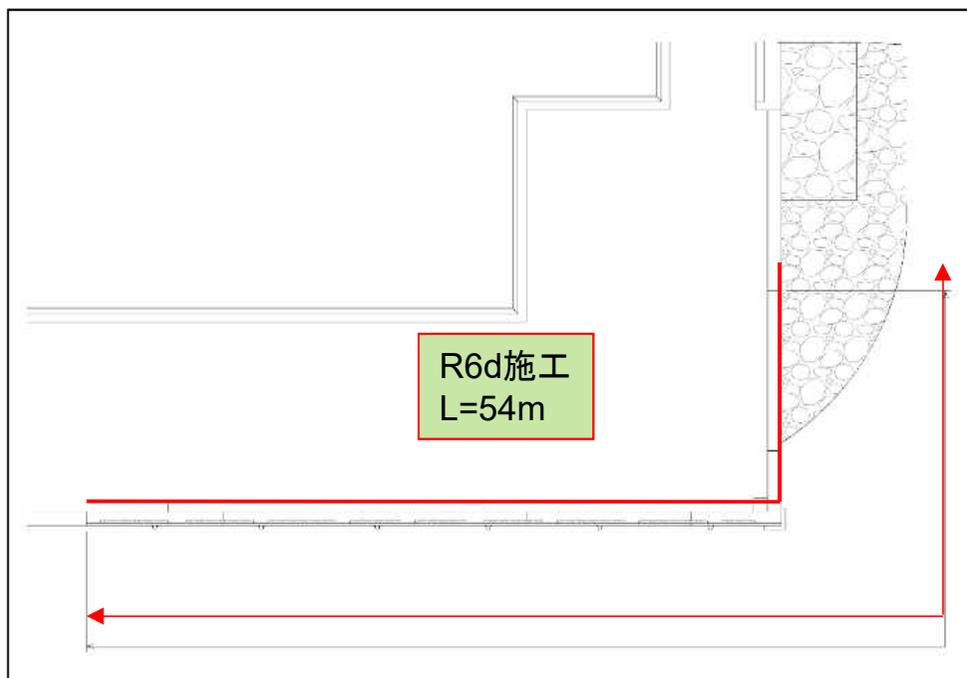


整備後



2. 事業概要（港湾施設・内海港・芦浦岸壁）

平面図



断面図



鋼矢板に 電気防食 + 被覆防食 を施工
(アルミニウム陽極 + ペトロラタム被覆)



2. 事業概要（港湾施設・坂手港）



2. 事業概要（港湾施設・坂手港・坂手浮棧橋）

側面図

R2~R3d施工
N=1式

HHWL+3.350

HWL+1.790

MLWL+0.600

DL±0.000

LWL+0.120

浮体流用
L22.0m × B8.0m × D2.4m



流用浮棧橋（豊島 家浦港）



2. 事業概要（漁港施設・竹生漁港）



3. 事業概要（漁港施設）

平面図



防波堤新設 L=70m



断面図

